



おうちのひとのための交通安全新聞 2019



8月号

子どもの交通事故は飛び出しが一番多い

子どもは大人と違って道路歩行時や横断時の「危険予測」がとても未熟です。
 大人の私たちがしっかり手を握って交通事故から守ってあげる必要があります。
 歩行者や自転車利用者の事故の半数以上は自宅から500メートル以内
 の距離で交通事故にあっています。いつも通る道だからと油断せず
 悲惨な交通事故がいつでも私たちの身近に潜んでいることを忘れないで
 ください。 (交通事故総合分析センターデータより)



歌おう 踊ろう
 「おすんでひらいて」の曲で

サバーンのおやくそく いつでも どこでも まもります
 おててをつないでいるきます ひとりでぴゅーっといきません
 こうつうあんぜん まもります じぶんのいのちを まもります

交通安全は家庭から

お子さんの成長に合わせて
 何度も教えましょう



横断歩道は歩行者優先です

横断歩道を横断している又は、横断しようとしている歩行者が
 いるときは必ず横断歩道の手前で一時停止をしましょう。
 路上訓練中でも一時停止せず、スピードを上げて走り去って行く
 車がたくさんいます。横断歩道に歩行者がいるとき車が一時停止
 せずに通過してしまうと交通違反です。(道路交通法第38条第1項)

